

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

やまがたの家

グループの名称

家づくりネットワークやまがた

直近採択グループ番号

06-0580-0112

(グループ代表者)

代表者名

木村 一義

代表者印

代表者所属先

株式会社シェルター

代表者所在地

山形県山形市松栄1-5-13

代表者電話番号

02-3647-5100

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社シェルター

事務局担当者名

福島 輝大

印

事務局郵便番号

980-0014

事務局所在地

宮城県仙台市青葉区本町2-18-21タケダ仙台ビル4F

事務局電話番号

022-797-5800

事務局FAX

022-797-5850

事務局担当者E-mail

k-fukushima@shelter.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	やまがたの家
2. グループの名称(必須)	家づくりネットワークやまがた
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0580-0112
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県、宮城県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	木村 一義
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社シェルター
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県山形市松栄1-5-13
9. グループ代表者電話番号(必須)	02-3647-5100
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社シェルター
11. グループ事務局担当者名(必須)	福島 輝大
12. グループ事務局郵便番号(必須)	980-0014
13. グループ事務局所在地(必須)	宮城県仙台市青葉区本町2-18-21タケダ仙台ビル4F
14. グループ事務局電話番号(必須)	022-797-5800
15. グループ事務局FAX番号(必須)	022-797-5850
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	k-fukushima@shelter.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	
II. 製材・集成材製造・合板製造	8	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	3	
V. 設計	1	
VI. 施工	5	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	/	3	国内
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	<input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	<input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	山形県産材	山形県		県産木材「やまがたの木」	1

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		4棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		2棟					
				500㎡					
				200㎡					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

<グループ構成員記入用リスト> Ⅳ. プレカット(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
6	Ⅳ - 1	株式会社シェルター		990-2473	山形県山形市松栄1-5-13	023-647-5100
6	Ⅳ - 23	相原木材株式会社		990-2251	山形県山形市立谷川2丁目86-1	023-686-4326
6	Ⅳ - 27	株式会社アイト工業		992-0022	山形県米沢市花沢町2845	023-823-1847
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					
	Ⅳ -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) やまがたの家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県、宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 家づくりネットワークやまがた	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0580-0112	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	積雪荷重を考慮し許容応力度計算による構造等級2以上の確保 やまがたの木認証材をふんだんに使用した、地産地消の住宅	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	グループで指定する地域材を主要構造部に50%以上使用 工法においてはKES構法を採用 阪神淡路大震災、東日本大震災では優れた強度が証明 山形県産材の杉(やまがたの杉)を使用	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	積雪、落雪を考慮した配置、屋根形状とする	◎
④①～③の背景	山形県内の全域が豪雪地帯、76%が特別豪雪地帯と冬季間において厳しい自然条件。《年間降雪量 第3位(2011) 年間降雪日 第5位(2010) 年間日射時間 第44位(2010) 年間晴れ日数 41位(2010)》。県を南北に横断するように山形盆地断層帯が存在するほか、東日本大震災により平成23年3月9日、4月7日にはそれぞれ震度4～5が発生。地震に対する現在防災意識が高い。 山形県は森林面積約67万ha(全国8位)と豊富な地域資源に恵まれている。そのうち杉の人工林が16万ha(人工林面積の約86%)を占めている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	より高い強度を持つ【主要構造部】と、地域材をふんだんに使用した【造作・羽柄材】を分けて考え、それぞれの良いところを抽出し、安全・安心の住宅を提供する。山形県産材は杉材が主流であり、主要構造材における横架材や土台などに使用する材の生産量が少なく、また流通体制が出来ていない。豪雪と地震に対してより安全で、安定した強度の構造材とするため、主要構造体を集成材とし、使用部位により高い強度や効果を発揮する材種とする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 前年以前は、補助金優先の取組となつてしまい、補助金以外の物件はコスト高等の理由で地域型住宅仕様グレードアップできないケースがあった。平成29年度は長期優良仕様を標準とした営業展開を行い、地域型住宅の普及を図る	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が中心となり、建材・設備器具等納品に関する検討委員会を設置	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用する材料を標準化し流通コストや仕入れコストを削減する	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が中心となり、建材・設備器具等納品に関する検討委員会を設置	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用する材料を標準化し流通コストや仕入れコストを削減する	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 設計グループ、施工グループ、事務局が中心となり全物件長期優良住宅を標準仕様としたスペックを設定	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 前年以前は現場ごとの対応に終始していたため、全体の仕様内容や設備仕様にはばらつきがあった。事務局が中心となり、物件ごとの仕様書を作成し管理を行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅マニュアルの作成と施工標準化を図る	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局、設計グループが中心となり、仕様内容の現場チェックを行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅を標準仕様とし、見積書表紙に「長期優良住宅仕様」と記載。「長期優良住宅標準仕様書」を作成し、見積の提出時にエンドユーザーへの説明を義務化	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループにおける標準仕様書の共通見積書を作成し、地域型住宅内容をエンドユーザーへの説明の義務化。対象住宅をHPに掲載する場合は、グループ名や活動内容も併せて公開し、エンドユーザーからの信頼強化に努める	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完全週休二日制を取り入れ、有休消化のスケジュール調整を行っている。	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 資格を取れば昇給し、定年で退職がなくなり、若い人材に仕事が回る制度となっている。	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場での注意喚起を呼びかけるとともに、現場パトロールを行っている。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) やまがたの家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県、宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 家づくりネットワークやまがた	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0580-0112	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の整備	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報蓄積の義務化。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が指定する情報サービス機関を活用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報のコピーを事務局に提出し確認を行う	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検(引渡し後6ヶ月、12カ月)の実施。施工グループが共通書式を使用して点検項目を	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 不具合・補修内容についてはグループ内で共有し、再発防止に繋げる	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局において点検3か月後の進捗状況を確認する	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理手帳を配布し、管理方法について理解を深めて頂く 4回/年、建築主に会報誌をお届けし、建物の不具合や不良箇所について確認を行う	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅完成見学会を実施。広告等に「地域型住宅仕様」との記載を行い広く告知する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の預り書(写し)、定期点検の実施報告は事務局に提出し、住まいの管理を事務	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産会社の住宅履歴等はグループ事務局が引き続き管理する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵が発生した場合は保険会社へ速やかに連絡するとともに、事務局へ報告し事故内容をグループ内で共有。再発防止に努める	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の施工現場において、未経験者向けに技術講習会を実施。事務局、設計グループが中心となり、施工内容の共通仕様書を作成し、未経験工務店の営業サポートを行う	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループと設計グループ相互の意見交換会を年2回実施する	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計グループによる設計仕様の検証(年2回見直し) 施工グループによる合同の研修会を実施 原木、製材、流通グループには上記で決まった事項について書面で連絡を行う。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0			
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の案内を配布し、積極的な参加を呼びかける		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木造耐火技術を活用し、防火地域、準防火地域に木造建築を建築する	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木造耐火建築物の開発	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			◎
BELSIにより一次エネルギー消費量を算定し、基準達成率で物件ごとの省エネを評価。基準達成率100パーセントを目指す			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) やまがたの家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県、宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 家づくりネットワークやまがた	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0580-0112	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄

a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	地域型住宅に使用する材において、耐久性、耐震性を必要とする【主要構造部】と、トレーサビリティや施工性、「やまがたの木認証制度」による地元の産地証明を取得した【羽柄・造作材】に分け、エンドユーザーに高強度でありながらも地域材の認証を取得した安心・安全住宅を提供する ・主要構造部(柱、梁、桁、土台):FSC、合法木材、やまがたの木認証材 → 50%以上 ・羽柄材[上記以外の木材(間柱、野縁、胴縁、垂木など)]:やまがたの木認証材 → 5㎡/棟以上	◎														
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="checked" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎														
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="0"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> <td rowspan="5">◎</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柱材、廻縁等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> <td></td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している	◎		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柱材、廻縁等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		板材	壁板、床板等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している	◎															
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している																
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している																
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用している																
造作材	柱材、廻縁等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している																
	板材	壁板、床板等: <input checked="checked" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している															
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主要構造部材の流れ</p> <p>合法木材による認証材 ①主要構造部に求められる強度を十分に発揮させるため、部位ごとに選んだ材料を使用する。 ②合法木材等を使用することで、全周から安心、安全な材料を調達することができる。 ③柱材は4寸角以上を使用。 ④主要構造部材の選材において合法木材を使用。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>羽柄材・造作材の流れ</p> <p>やまがたの木認証材(杉材)</p> <p>①やまがたの木認証制度は、山形県内において当該当認証制度に参画する原木供給から製材に至るまで、生産供給体制がしっかりとおり、産地証明が確保に定着できる。 ②やまがたの木認証制度は山形県及び山形県産木材利用センターの公共性・信頼性の高い団体等主体となつて運営している制度であり、施主へのP/Dへ訴えるものである。 ③1棟当たり5㎡以上、やまがたの木認証材を使用</p> </div> </div> <p>地域材供給の流れ</p>															

b	①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="checked" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が着工予定の一覧を作成し、今後見込まれる出荷量を予め製材、原木グループへ連絡。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input checked="checked" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="checked" type="checkbox"/> 行っている → 内容: FSC・合法木材 15㎡/1棟×20棟=300㎡ 県産木材「やまがたの木認証材」 5㎡/1棟×20棟=100㎡	○

c	①-1 畳の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	

d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="checked" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

カ. その他

【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄

東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) やまがたの家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県、宮城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 家づくりネットワークやまがた	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0580-0112	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

○対応地域
 山形県・宮城県は省エネ区分3地域と4地域にまたがり、建設場所により仕様を変更する必要がある。
 そこで、基本仕様は4地域仕様で設定とするが、仕様変更で3地域においても対応を可能とする。

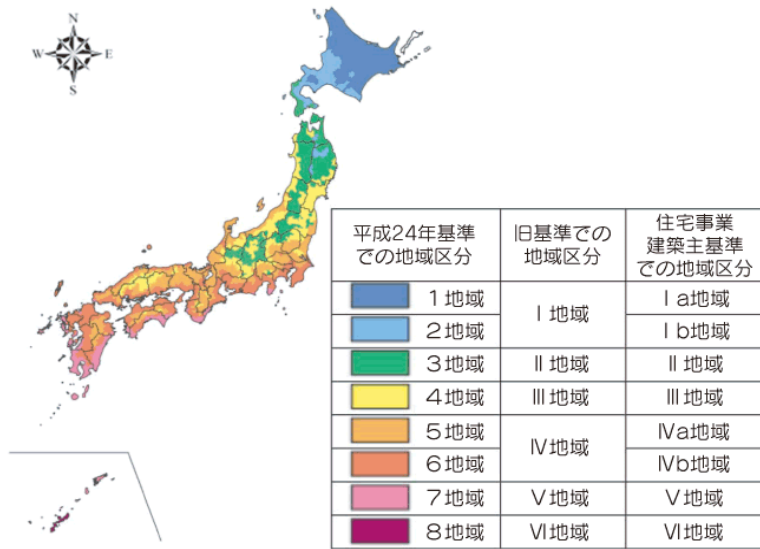
○基本仕様
 ・断熱材
 壁：充填断熱材 高性能グラスウール105mm 16kg 防湿層付
 床：ポリスチレンフォームⅢ種65mm
 天井：グラスウール ブローイング 210mm 18kg

・開口部
 サッシ：1重 (アルミ樹脂複合サッシ Low-Eペアガラス)
 玄関：金属製断熱遮断構造枠と断熱フラッシュ扉構造

・認定低炭素認定基準の選択項目
 「節水に資する機器の設置」 + 「木造住宅である」

※省エネ法で定める省エネルギー基準の一次エネルギー消費量△10%を超える省エネ性能を達成する事。
 上記基本仕様にて不足があるときには、適時仕様を変更し適応させることとする。

○特徴
 最近の住宅建築主の多岐に渡る趣向に対応するため、長期優良住宅(長寿命型)、省エネ住宅(低炭素住宅型)、在来工法、金物工法など多種にわたる選択肢を準備している。
 また、規格型プランとは異なり、設計においても自由設計を取り入れ、高性能な住宅でありつつ、自由な間取りや外観にすることが出来る。
 申請・手続きは事務局が一括して行うため、施工チームは煩雑な手間書類作成の軽減が図れる。



参考：省エネ区分

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。